

## 「メセナアワード 2014」受賞活動決定 豊かな暮らしをつくる多彩なメセナ活動が受賞 沖縄やケニアなど地域的な広がりも顕著

本件は10月9日(木)14:00、文部科学記者会・関西プレスクラブにて資料を配布をしています

公益社団法人企業メセナ協議会(東京都港区芝 5-3-2、理事長:尾崎元規)は、「メセナアワード 2014」の受賞活動7件(「大賞」1件、「優秀賞」5件、「特別賞:文化庁長官賞」1件)を決定しました。

2014年度の「メセナアワード」では、今ある暮らしをさまざまな視点から見つめ、文化を礎として豊かな社会をつくる多彩な活動が受賞しました。

「メセナ大賞」を受賞した(公財)ギャラリーエークウッドは、経済効率優先の価値観を問う中で「本当に豊かな暮らしとはなにか」という課題意識のもと、建築を取り巻く環境も含めた幅広いテーマによるギャラリー活動が評価されました。

「優秀賞」「特別賞:文化庁長官賞」においても、文化による社会創造の取り組みが受賞しました。

地域に根差した活動としては、沖縄の伝統工芸「紅型」の継承と発展に努める活動(琉球銀行)や、ケニアで地域の人々と協働で興した子どもたちのための図書館運営(日本工営)、隅田川という地域資源に文化の視点から迫る市民主体の多彩なプログラム(アサヒビール)などに光が当たりました。次世代育成も活発で、経営資源を子どものコミュニケーション教育にいかす活動(電通)や、全国のアマチュアオーケストラを通じて地域の音楽文化の担い手を育成する活動(トヨタ)が受賞しました。また、新たな表現を生み出す支援として、アーティストに安定した発表の機会をつくる活動(資生堂)が受賞しました。

惜しくも受賞を逃した活動も、震災復興に向けた継続的な文化活動、音楽や文学、美術をはじめとした多様な次世代育成、新人アーティストの支援、伝統文化・地域文化の豊かさを発信する活動など、市民の日々の生活を豊かに彩り、日本の文化の魅力を高めていることが見てとれます。

本顕彰事業を通じ、メセナが国内外の各地で芸術・文化による幅広い社会創造を推進していることが鮮明になりました。

### ■「メセナアワード 2014」選考結果

※賞名/企業名(活動地域)/受賞活動。企業名五十音順

※最も高く評価された1件に「メセナ大賞」を贈呈。他の賞については、特に評価の対象となった点を賞名に反映

大賞	メセナ大賞	公益財団法人ギャラリーエークウッド(東京都) 「建築・愉しむ」ギャラリーエークウッドの運営
優秀賞	川の手文化賞	アサヒビール株式会社(東京都) すみだ川アートプロジェクト2013:江戸を遊ぶー「ないまぜや!」鶴屋南北
優秀賞	華のアート賞	株式会社資生堂(東京都、静岡県) 「椿会」の開催と資生堂ギャラリー、資生堂アートハウスの活動
優秀賞	子どもクリエイティブ賞	株式会社電通(全国) 「広告小学校」プロジェクト
優秀賞	ケニアで読みま賞	日本工営株式会社(ケニア国ニャンザ州ニャンド県) 日本ケニア友好ソンドゥ・ミリウ公共図書館での読書文化普及のための支援活動
優秀賞	紅型めんそ〜れ賞	株式会社琉球銀行(沖縄県) 「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」による紅型振興と次世代育成活動
特別賞	文化庁長官賞	トヨタ自動車株式会社(全国) トヨタ青少年オーケストラキャンプ

## ■「メセナアワード 2014」受賞活動の紹介

### 大 賞:メセナ大賞

公益財団法人ギャラリーエークウッド  
“建築・愉しむ” ギャラリーエークウッドの運営

2005年2月、竹中工務店本社の東陽町への移転にあわせ、地域貢献活動を目的にギャラリーエークウッドはオープンした。当初は、同社設計部を中心にギャラリー特別委員会を組織して運営。その後財団法人化し、2013年には公益財団法人に移行して現在に至る。

ギャラリー名に冠した「エークウッド：A<sup>4</sup>（Aの4乗）」は、Aの3乗＝空間、つまり「建築」を意味し、残るAは、Atmosphere（空気、雰囲気）や Amusement（楽しみ、娯楽）、あるいは「建築」に時間ファクターを取り入れ、4次元的に「愉しむ」ことを示している。

このコンセプトに基づき、年間7～9本の企画展を開催、これまでに75回を数える。2013年の「トーベヤンソン展」ではトーベの島の暮らしの記録からそのライフスタイルと思想を紹介し、「木造モダニズム建築シリーズ」では、時代的背景を掘り下げながら木造によるモダニズム建築の魅力とその可能性を伝えるなど、独自の視点で文化を解きほぐす。自然や人の営みに目を凝らし、物事の多面性を見せるその切り口からは、日本のものづくりや匠の精神といった一貫した眼差しが浮き上がる。各展覧会のテーマに応じたシンポジウムや「ものづくり」ワークショップは、大人だけでなく近隣の子どもたちも参加する企画として展開されている。

多彩なアプローチには、暮らしをデザインするという大きな視点での建築文化の考え方が根付いてほしい、そして、日常に潜むたくさんの「楽しい」を多くの人が見つけてほしい。そんな願いが込められている。

#### ●評価ポイント

建築をとりまく生活文化をベースに、独自の切り口で文化の多様な考え方を提案している。／消えゆく日本の建築文化を取り上げ、再評価のきっかけづくりに貢献している。



木造モダニズム展第5回 三里塚教会物語と吉村順三展



トーヴェ・ヤンソン夏の家  
ームーミン物語とクルーヴ島の暮らし一展

#### ●団体プロフィール（2014年4月現在）

団体所在地：東京都江東区

正味財産：27億300万円

主な事業：文化及び芸術の振興を目的とする事業

設立年：2005年

職員数：5名

URL：<http://www.a-quad.jp/>

## ■「メセナアワード 2014」受賞活動の紹介

### 優秀賞：川の手文化賞

アサヒビール株式会社

すみだ川アートプロジェクト 2013：江戸を遊ぶ―「ないまぜや！」 鶴屋南北

かつてのように白魚が棲み、人々が泳ぎ遊べるような川にしたい。隅田川を重要な地域資源と捉えるアサヒビールが進める「すみだ川アートプロジェクト (SRAP)」が描く未来像だ。2009 年から 2089 年までの 80 年間、地域の人々やアーティスト等とともに、皆でつくり、皆で楽しむ「川の手文化」の発信を続けることで、多くの人々が隅田川に目を向け、行動する機会を創造しようとの取り組みである。

毎年夏には、吾妻橋袂にある本社ビル隣のアサヒ・アートスクエアを拠点に、近隣の寺社や広場、隅田川に行く船を使いながら、連日連夜さまざまなプロジェクトが 1 ヶ月半にわたり展開される。近年は「江戸を遊ぶ」をシリーズテーマに、江戸期に活躍した文人や画家等に注目する。2013 年は鶴屋南北を取り上げて会場を芝居小屋に見立て、「隅田川」「江戸」「鶴屋南北」に因む約 40 のプロジェクトが行なわれた。江戸着物のファッションショーや義太夫お稽古体験、禅僧による怪談、町工場の廃材で楽器をつくるワークショップ、子どもガムラン隊が登場する宵宮など、主催者企画のほか公募により「ないまぜ」なプログラムが繰り広げられた。音楽家の大友良英が仕掛ける「アンサンブルズ・パレード/すみだ川音楽解放区」では 200 人以上がそれぞれ好きな楽器を手に参加し、まちに音を響かせた。

春は花見、秋は月見、冬は雪見と季節ごとの催しも行い、隅田川をアートで遊ぶ多彩なプロジェクトが次々と続く。誰もが表現することを楽しむ場をつくり出す SRAP、80 年の時をかけ、隅田川の清流沿いに、どれほど賑やかな川の手文化を育むことだろう。

#### ●評価ポイント

文化の側面から地域資源に注目する長期的な取り組みで、遊び心に満ちた幅広い活動が展開されている。／さまざまな立場の人がかかわり、創意あふれる提案と主体的な参加を促すことで、文化の多様性を担保している。



アンサンブルズ・パレード/すみだ川音楽解放区



Orquesta Nudge!Nudge! × 配財プロジェクト  
打楽器ワークショップ

#### ●企業プロフィール (2014 年 4 月現在)

本社所在地：東京都墨田区

資本金：200 億円

主な事業：酒類事業

設立年：1949 年 (現：アサヒグループホールディングス)

従業員数：3,300 名

URL：<http://www.asahibeer.co.jp/>

## ■「メセナアワード 2014」受賞活動の紹介

### 優秀賞：華のアート賞

株式会社資生堂

「椿会」の開催と資生堂ギャラリー、資生堂アートハウスの活動

資生堂のシンボルマーク「花椿」に由来する「椿会」は、同社が 1919 年より運営する資生堂ギャラリーを代表するグループ展だ。1947 年、第二次大戦で中断していた同ギャラリーの活動を再開する第一弾の展覧会として企画されたもので、数年間固定メンバーで組織されたグループ展を、毎年一回開催する。参加アーティストのジャンルは、日本画、洋画、彫刻から現代美術へと時代とともに広がり、これまで 93 名が椿会メンバーとして名を連ねる。2013 年からは、現在も続く第七次メンバーを迎えている。

出展作品の購入を前提として、毎年アーティストに新作の制作を依頼する。新しい表現へチャレンジするための安定した発表の機会をつくることで、アーティスト自身のクリエイションの幅を広げてほしいという意図からだ。そこには、新しい価値を発見して美しい生活文化を創造し続けるという、同社のミッションが反映されている。

展覧会終了後に購入した作品は、1978 年に静岡県掛川に開館した資生堂アートハウスのコレクションに加わる。「椿会」第六次までの購入作品約 330 点と、同ギャラリー主催の「現代工芸展」出展作品約 240 点を合わせると、コレクション全体の 4 割に及び、その中には、のちにアーティストの代表作となる作品も多く含まれている。同館では、所蔵作品による企画展を年 4 回開催しており、グループ展後も広く作品を公開する機会を提供している。

60 年以上にわたり、「椿会」はグループ展という仕組みを軸に、ギャラリーとアートハウスの特徴を活かしながら、新たな価値の創造に寄与してきたのだ。

#### ●評価ポイント

アーティストに新たな作品制作の場を提供しコレクションすることで、同時代のアートの潮流を先導してきた。／各地で運営する施設の役割を活かして、一貫した創造活動支援を多面的に展開している。



第七次椿会 (2013～)



アートハウスでの展示風景

#### ●企業プロフィール (2014 年 4 月現在)

本社所在地：東京都中央区

資本金：645 億円

主な事業：化粧品、化粧用具、トイレタリー製品、美容・理容製品、医薬品、美容食品の製造、販売

設立年：1927 年（創業 1872 年）

従業員数：33,000 名

URL: <https://www.shiseido.co.jp/>

## ■「メセナアワード 2014」受賞活動の紹介

### 優秀賞：子どもクリエイティブ賞

株式会社電通

「広告小学校」プロジェクト

CMづくりで、「伝える」を学ぶ。電通が取り組む社会貢献活動「広告小学校」のテーマだ。

子どものコミュニケーション力の育成を目的に、同社と東京学芸大学が協働で開発した小学生のための授業プログラムで、学校の先生の指導により、共通のテーマについてアイデアを出しながらグループワークを行い、最終的に15秒のCM劇として発表するものだ。発想を広げて課題を整理し、表現につなげる一連のプロセスにより、「伝える・伝わる」経験を積むことを重視している。

授業に必要な教材はパッケージ化して無償提供しており、先生のための学習指導案やQ&A集、DVDやワークシートのほか、CM劇のための小道具を揃えるなどきめ細かい。メソッドはもとより教材そのものにも同社のコミュニケーションスキルが最大限に活用されている。これらのパッケージにより多くの教室で取り入れることが可能となり、2013年度は90校・約7,400人の子どもが同プログラムを体験。2006年の取り組み開始時から数えると、利用者は全国の176校・20,000人にのぼる。

もともと小学生向けに開発したプログラムだが、近年のキャリア教育やコミュニケーション教育への関心の高まりにより、中高生への利用が広がる。また、各地の文化や魅力を発見・発信するための授業ツールとして期待する声も寄せられ、教材のカスタマイズや授業のアドバイスに同社クリエイターが応じるなど、サポートも充実している。今後もより広範囲かつ幅広い年代に求められるプログラムとして、さらに広がりを見せるだろう。

#### ●評価ポイント

経営資源を子どものコミュニケーション教育に活かし、同社ならではの社会貢献活動として展開している。／教材と指導方法をパッケージにすることで、全国各地の学校の教育現場で活用されている。



「鎌ヶ崎のホタテのよさ」をCM劇で表現する子どもたち



宮古市津軽石中学校で講師を務める電通のクリエイター

#### ●企業プロフィール（2014年3月現在）

本社所在地：東京都港区

資本金：746億981万円

主な事業：コミュニケーション関連の統合的ソリューションの提供など

設立年：1901年

従業員数：7,425名

URL: <http://dentsu.co.jp>

## ■「メセナアワード 2014」受賞活動の紹介

### 優秀賞：ケニアで読みま賞

日本工営株式会社

日本ケニア友好ソンドゥ・ミリウ公共図書館での読書文化普及のための支援活動

きっかけは、鍵付きの本棚を見たことだった。日本工営は、ケニアのソンドゥ・ミリウ地域での水力発電所建設の施工監理業務を受注し、1997年より事業に携わっていた。2000年、現場の迫田所長のもとに、現地の自助会「ヘラ（ルオー語：幸福）婦人会」が相談に訪れた。同会の活動をなにか支援してほしい、との依頼だ。現地の学校の図書室では教科書や本が鍵付きの棚に保管され、子どもたちが自由に使えないことを知っていた迫田氏は、図書館の開設を提案。開設資金と英語の本の寄付を社内に呼びかけ、事業主の発電会社には工事用の建物の一部を提供してもらった。こうして、2001年に「ソンドゥ・ミリウ公共図書館」が発足した。

図書館を運営するのは、同婦人会の婦人たち12名。その運営を支えるのは、同社と「図書館を応援する会」だ。迫田氏が会長を務める同会は、社員をはじめ日本や英国、ケニアの市民で構成される。ここで集められる本や支援金は毎年現地に送られ、蔵書は2009年に約5,000冊に達した。同年の暴風雨被害で半分以下に減るも、その後の寄贈で現在は4,000冊となる。2004年には、同会の支援金で土地を購入、新図書館を建設して拠点を移した。司書の雇用のほか、絵画教室や作文コンテストの開催などを提案、運営ノウハウの提供も含め、図書館としての質の向上にも力を入れる。

現在の来館者は年間27,000人となり、年々増加の一途をたどる。一人の思いが多くの人々を動かし、ケニアの地に読書文化を根付かせようと、これからも活動を続けていく。

#### ●評価ポイント

現地団体と直接連携し、現場のニーズに即したきめ細やかな支援を行っている。／企業と賛同者による団体が連携して継続支援することにより、読書文化に対する理解促進に寄与している。



日本ケニア友好公共図書館の正面玄関（2004年10月建設）



図書館の本棚と読書中の子どもたち（蔵書4,000冊）

#### ●企業プロフィール（2014年6月現在）

本社所在地：東京都千代田区

資本金：73億9,333万8,939円

主な事業：開発および建設技術コンサルティング業務ならびに技術評価業務、電力設備、各種工事の設計・施工、電力関連機器、電子機器、装置などの製作・販売

設立年：1946年

従業員数：2,991名[連結]、1,845名[単独]

URL: <http://www.n-koei.co.jp/>

## ■「メセナアワード 2014」受賞活動の紹介

### 優秀賞：紅型めんそ〜れ賞

株式会社琉球銀行

「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」による紅型振興と次世代育成活動

紅型は、多彩に染めつけられた美しい文様が見る人を惹きつける、沖縄を代表する伝統工芸だ。14～15世紀頃にアジアの染色技法を取り入れ、京都・友禅の影響も受けながら、琉球王朝の繁栄と共に発展したが、近年は作家だけでなく後継者も減少の一途をたどっていた。

琉球銀行は、設立 45 周年と沖縄の復帰 20 年が重なった 1992 年、「紅型デザインコンテスト」を始める。それまで長らくカレンダーに使用してきた紅型の採用方法をコンテストに切り替えることで、若手工芸家の育成に取り組むと同時に、紅型デザインの新しい領域の追求にも力を入れるためだ。

コンテストでは、プロアマ問わず紅型の手法を使った作品を募集。2013 年より、「一般枠」のほかに 20 歳以下の学生を対象とした「未来枠」を設置し、より幅広い年代へと視野を広げる。応募作品はすべて県立博物館・美術館で展示され、期間内は紅型ワークショップも行う。入賞・受賞作品は毎年買い取り、主要店舗にて巡回展示するほか、カレンダーや顧客が日ごろ使う通帳やキャッシュカードなどで広く活用される。案内板など店内各所で作品が展開され、中でも本店店舗の壁がひとときわ目を引く。大きな壁の一面に作品が採用されており、数年おきに内容が入れ替わる。

さらに、作品の活用を自社内にとどめず、県内企業へも 2009 年までの受賞作品約 110 点の使用を呼びかけたところ、第 1 号として待望久しい「かりゆしウェア」が誕生した。伝統技術を継承しつつ、これからも紅型表現の新しい扉は鮮やかに開いていくだろう。

#### ●評価ポイント

地域独自の伝統文化を継続的に支援すると同時に、新たな表現へ可能性を広げている。／多様な手法で作品を紹介することで、伝統工芸を日常に落とし込み、次世代育成に寄与している。



第 23 回紅型デザインコンテスト  
一般枠 大賞「風を受けて」／天願千恵



琉球銀行本店の壁面

#### ●企業プロフィール（2014 年 4 月現在）

本社所在地：沖縄県那覇市

資本金：541 億 2,700 万円

主な事業：預金業務、融資業務、国際業務、証券業務等

設立年：1948 年

従業員数：1,251 名

URL: <http://www.ryugin.co.jp/>

## ■「メセナアワード 2014」受賞活動の紹介

### 特別賞:文化庁長官賞

トヨタ自動車株式会社

トヨタ青少年オーケストラキャンプ

各地から音楽を志す青少年が一堂に会してプロの指導を受ける3泊4日の音楽合宿、それが「トヨタ青少年オーケストラキャンプ (TYOC)」だ。1980年代当時、「全国の仲間と、もっと多くのものと時間を共有したい」という青少年たちの熱い思いを受けて、トヨタ自動車と日本アマチュアオーケストラ連盟が連携し、活動が始まった。

第1回の1985年から毎年開催しており、全国のジュニアおよびユースオーケストラをはじめ、一般やアジアのジュニアオーケストラへと対象も広がりを見せ、第30回となる2013年は13~23歳の青少年約160名が国内外から参加した。TYOCは2年間を1単位とし、1年目に集まったメンバーが2年目のキャンプで再会し、朝から晩まで第一線で活躍するプロの演奏家から指導を受けて、曲を仕上げる。最終日にサントリーホールで開催した演奏会には、全国のキャンプ卒業生が応援に駆けつけた。

TYOCの特徴は参加者の自主運営スタイルにあり、設立当初に声をあげた青少年たちの意思を継ぐ。音合わせの技術だけでなく、心合わせの経験も蓄積される2年間となるのだ。そして、ここで参加者が得た技術や運営のノウハウを地元を持ち帰ることもTYOCで大切に受け継がれる約束事だ。他では得難い貴重な経験は、各地域のオーケストラ活動に広く活かされている。

これまでの参加者はのべ5,000名。創設期に10代だった青少年も今では40代となり、プロの音楽家や地元のオーケストラの中核として活躍する。TYOCから持ち帰られた種は各地で芽吹き、幹を太くしながらこれからも成長しつづけるだろう。

#### ●評価ポイント

各地の青少年を対象とすることで、地域の音楽文化の担い手となる次世代を多面的に育成している。／外部団体との連携で国内外のアマチュアオーケストラを支援し、継続的に幅広いネットワーク形成をしている。



2014年3月30日 第30回 トヨタ青少年オーケストラキャンプ  
日本青少年交響楽団 特別演奏会 (サントリーホール)



ヴァイオリン講師の白井篤先生 (N 響) は  
TYOC 第4期卒業生

#### ●企業プロフィール (2014年4月現在)

本社所在地: 愛知県豊田市

資本金: 3,970億5,000万円 (2014年5月現在)

主な事業: 自動車の生産販売

設立年: 1937年

従業員数: 338,875名 (連結)

URL: [http:// www.toyota.co.jp](http://www.toyota.co.jp)



## ■「メセナアワード 2014」概要

公益社団法人企業メセナ協議会が 1991 年より実施する、企業・企業財団の優れたメセナ活動を顕彰する事業。本年 24 回目を迎えた「メセナアワード 2014」では、4 月から 5 月末にかけて行った全国公募に対し、102 件(94 社・団体)の応募がありました。これらの応募活動について外部の専門家からなる選考委員会により検討を行い、本年の受賞企業・活動を決定しました。

募集期間： 2014 年 4 月 1 日～5 月 31 日

大賞(1件)	芸術・文化振興による社会創造に貢献した取り組みのうち、最も優れた活動
優秀賞(5件) *活動の特徴が反映された賞名	芸術・文化振興による社会創造に貢献した活動
特別賞: 文化庁長官賞(1件)	国民の「文化力」・「創造力」向上や、日本文化の海外発信に貢献した活動

応募資格:

日本国内に所在する企業および企業財団が、2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日の期間に行ったメセナ(芸術・文化振興による社会創造)活動。自薦および他薦にて応募を受付

応募総数:102 件(94 社・団体)

選考ポイント:

### 【大賞・優秀賞】

- 経営資源を活動にいかす工夫
- 芸術・文化や社会・地域とのかかわり方
- 活動の展開や継続への意欲
- 芸術・文化および社会に与えるインパクトや貢献度 など

### 【特別賞:文化庁長官賞】

- 自治体、公益法人等や NPO、学校、社会福祉法人等の外部の団体と連携し、国民(地域住民、子供たち等)の「文化力」・「創造力」向上あるいは日本文化の海外発信に貢献する取組

赤池 学 (ユニバーサルデザイン総合研究所所長)

河島伸子 (同志社大学教授、文化経済学会(日本)会長)

榎木野衣 (美術批評、多摩美術大学教授)

福岡伸一 (生物学者、青山学院大学教授)

松岡正剛 (編集工学研究所所長)

茂手木潔子 (日本音楽研究)

※以上、五十音順、敬称略

尾崎元規 (公益社団法人企業メセナ協議会理事長)

※文化庁長官賞部門の選考には、文化庁担当者が加わりました

## ■「メセナ大賞・優秀賞」トロフィー

メセナアワードでは、3年ごとに若手作家に新作トロフィーを依頼・制作しています。本年は、2012年から2014年を通じて制作された3部作が完成。贈呈式では、作家の川上幸子氏出席のもと、トロフィーが発表・授与されます。

### 【制作コンセプト】「relation」

芸術文化を通して、人々が分野を超え時を超え繋がっていかれるようお願いを込め、一本の線を積み重ねることで個々のトロフィーの図像がひとつに繋がって紡がれてゆくアートワークを制作します。それぞれの取り組みはもちろん、それが連なった時にも、また別の大きな夢を描けるよう、繋がり受け継がれるような絆が結ばれることを願います。

### 【作家プロフィール】川上幸子(かわかみ・さちこ)

1984年生まれ。2009年京都造形芸術大学大学院芸術表現専攻修士課程修了。大学では一貫して彫刻を学ぶ。「知覚と造形」をテーマとし、近年は特に「知覚における“見え”」を主軸に、「目で触れる」感覚を追った造形作品を制作。ミニマルな方法論・素材の特性・描画技法の組み合わせで、平面の支持体の中に視覚的触感のある図像を生み出している。10年「SICF11th」にてスパイラル奨励賞を受賞。

## ■公益社団法人企業メセナ協議会

**公益社団法人企業メセナ協議会** <http://www.mecenat.or.jp/>

芸術・文化振興による社会創造を目的として、企業をはじめ文化に関わる団体が参加、協働する民間の公益法人。創造的で活力にあふれた社会、多様性を尊重する豊かな社会の実現に寄与すべく、企業メセナの推進を中心に、文化振興に関する調査・研究、認定・顕彰、交流、発信等の事業を行う。会長：高嶋達佳([株]電通会長)、理事長：尾崎元規(花王[株]顧問)。会員174社・団体/12名(2014年9月5日現在)。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人企業メセナ協議会 広報担当：坂本 /メセナアワード担当：内田

TEL: 03-5439-4520 FAX: 03-5439-4521 E-mail: msakamoto@mecenat.or.jp

〒108-0014 東京都港区芝 5-3-2 アイセ芝ビル 8階 URL: <http://www.mecenat.or.jp/>